



2025年度 市政懇談会 <小山連合町内会>

次 第

[日時] 2025年10月20日(月) 18:30 ~ 20:00

[場所] 小山市民センター ホール

司会進行：市民部長 横山 法子
小山連合町内会 橘 寿一

○ 連合会長の挨拶

小山連合町内会 会長 安達 廣美

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 交通・生活インフラ整備

【道路部】 【都市づくり部】

2 境川ゆっくりロードの整備

【道路部】 【下水道部】

3 多摩境駅前交番について

【防災安全部】

4 その他

①住居表示の検討

【都市づくり部】

②町内会への加入者勧誘活動の支援強化

【市民部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 小山連合町内会

会長代行 奥山 岳志

2025年度 小山連合町内会 市政懇談会 議事録

[日 時] 2025年10月20日（月）18:30～20:00

[場 所] 小山市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石阪 丈一

防災安全部長 大貫 一夫

道路部長 深澤 香織

都市づくり部長 原田 功一

都市づくり部都市整備担当部長 新 聰

下水道部長 西澤 弘泰

市民部長 横山 法子

小山連合町内会会長 ほか12名

事務局 市民部市民協働推進課 6名

小山市民センター長

司会進行：市民部長

小山連合町内会

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の要望に関する意見交換

1 交通・生活インフラ整備

小山地区は、地域を東西に延びる町田街道と多摩境通りが幹線道路であり、幹線道路を南北方向に繋げる狭隘道路があります。交通量増加に伴い多摩境通りが渋滞することで、それを回避するために通学道路や生活道路として利用されている本狭隘道路が抜け道として利用されることが多くなりました。しかしながら、交通インフラが未整備であり、重大事故等が発生する前に対策を講じる必要があると考えます。本点に関して何度か要望しておりますが、未だ明確なご回答は頂けておりません。

【回答】

道路部長

議題1 「交通・生活インフラ整備」は、町田街道と多摩境通りを接続する生活道路について、昨年度の市政懇談会後に実施した交通安全対策をご説明いたします。

【投影資料1】1つ目は、しまむら小山町店脇から老人ホーム美郷前交差点に抜ける青色の路線についてですが、2024年12月に、この路線にある交差点マーク8か所の引き直しを実施しました。

【投影資料2】2つ目は、緑色の路線についてですが、2024年12月に、この路線にある交差点マーク4か所の引き直しを実施しました。

【投影資料3】3つ目は、桃色の路線についてですが、2024年12月に、速度落とせの路面標示を新設しました。

【投影資料4】4つ目は、オレンジ色の路線についてですが、2024年12月にT字2か所、十字1か所、非優先道路を示すドット線、センターライン、外側線の引き直しを実施しました。

《質疑》

町有町内会

昨年もこの市政懇談会に出席させていただきまして、昨年行った施策をお聞きしました。昨年から今だと12月ということなので、ほぼ10か月ぐらいたっていると思うので、その間に効果みたいなものを昨年も教えていただければ教えていただきたいというふうにご質問させていただいたのですけれども、効果みたいなものというのは何か統計的というか、数値的なものというのはありますでしょうか。

道路部長

確かに昨年も、実施による効果ということでご質問をいただいておりますが、実際に消えているものを書いただけというところもございますし、交通量や、どういう反応があったかというところは調べにくい内容でございます。今回実施した内容は注意喚起の表記ですか、道路を使われる方々への注意喚起ですので、事故が起きていないということが1つとして効果と考えております。大変曖昧ですけれども、現時点では、数値的なものでお示しする効果というのを出せないことをご了承いただければと思います。

1 交通・生活インフラ整備

①多摩境通り交通環境整備

多摩境駅東入口交差点～多摩境駅前交差点間における車線区分の変更を検

討して頂きたい。現行の右折車線、直進左折車線から右折、直進、左折の3区分に変更。

【回答】

道路部長

議題1 「①多摩境通り交通環境整備」についてお答えします。

【投影資料5】多摩境駅東入口交差点の国道16号に向かう車線で多発している直進・左折レーンに右折レーンからの割り込み対策の要望と伺っております。

2023年度の市政懇談会での回答と同様になってしまいますが、2車線から3車線への変更につきましては、道路中心の位置に変更が生じ、町田方面に向かう車両と国道16号に向かう車両で、接触事故を招いてしまう危険な改築になってしまうため、実施は難しい状況です。

【投影資料6】この交差点の割り込みの対策につきましては、3か所ある規制予告標示のほかに、多摩境駅東入口交差点より前から運転者に見えるように「国道16号方面は直進」などの看板の設置を検討してまいります。

1 交通・生活インフラ整備

②小山中央小学校前に設置されている歩行者用信号機を通常信号機へ変更
本T字路の交差点は、小山地区にとって人と車の要衝になっています。平成16年に東京都施工の多摩ニュータウンの区画整理も終了して、地域人口も増加し、現在は整備前に比べ倍以上の方々が居住されています。地域住民が地域の安全を確保するために尽力しても限界がありますので対策を請じて頂けたい。

【回答】

道路部長

議題1 「②小山中央小学校前に設置されている歩行者用信号機を通常信号機へ変更」についてお答えします。

【投影資料7】多摩境通りと生活道路の丁字交差点が、朝の通学時間帯に押しボタン式信号が青で児童が横断歩道を渡る際、生活道路側の車両が、黄色矢印のように無理やり右折しており、児童の安全対策として通常の信号機への変更要望と伺っております。

また、この通常の信号機への変更と合わせて、町田街道から多摩境通り至る生活道路をスクールゾーン及び朝の時間帯通行規制を設定することと伺っております。

土日など多摩境通りが混雑する際は、押しボタン式信号機から通常の信号機になると右折車両が出やすくなるため、この生活道路の交通量が多くなること

が見込まれ、かえって危険になると考えております。

信号機の変更につきましては、昨年度、回答いたしましたとおり、警察に検討を要請しましたが、変更はできないと回答を得ています。引き続き、交通ルールを守って通行していただくようお願い申し上げます。

1 交通・生活インフラ整備

③町田街道における拡幅工事の見通し

町田街道における小山交差点から東方面の整備について、見通しをお示しください。未整備の状況から馬場から小山小学校へ右側通行で歩くと横断歩道がなく、左に横断して右に横断することになります。その場合、右側通行するためには横断歩道がない所を横断せざるを得なくなると考えます。子どもたちの安全対策をお示しください。

【回答】

道路部長

議題1「交通・生活インフラ整備」の「③町田街道における拡幅工事の見通し」についてお答えいたします。

【投影資料8】

都道町田街道の小山交差点から馬場交差点までの区間につきましては、現行の「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」において、優先整備路線等の位置づけがないため、整備時期は未定です。

ご要望いただいた交差点における横断歩道の設置については、警察にご要望内容をお伝えいたします。

1 交通・生活インフラ整備

④狭隘道路の安全対策

横断歩道や横断歩道手前のダイヤモンドマーク、視線誘導線などの路面標示がとても薄くなっています。歩行者の安全を守るためにもきちんと標示してください。

【回答】

道路部長

議題1「④狭隘道路の安全対策」についてお答えします。

狭隘な町田市道への安全対策要望（例えば、外側線・区画線の引き直しや、カーブミラー、ガードレール等の新設や修繕）への対応につきましては、地域の皆様からの要望に基づき現地調査を行い、設置の可否を判断した上で、危険性が高い箇所から順次対応しております。

また、横断歩道手前のダイヤマークや停止線等の交通規制に関わるものは、

警察の所管となりますので、直接警察に要望していただくか、市に要望いただければ所管警察に対応を要請してまいります。

1 交通・生活インフラ整備

⑤公園への日除け施設の設置

熱中症対策として地域の公園に日除けシェード等の設置を検討して頂いたい。

【回答】

都市整備担当部長

日よけ施設の設置候補は、三ツ目山公園、小山上沼公園、下馬場広場のいずれか1つとお聞きしています。

日よけ施設の設置を希望される場所や、大きさなどについて、まずは現地でお会いしてお話を聞かせていただき、2026年度の設置に向けて検討させていただきます。

なお、検討の中身ですが、三ツ目山公園、小山上沼公園は、雨水調整池の機能があり雨天時には水没してしまう場所があること等、日よけの設置場所については考慮が必要です。

2 境川ゆっくりロードの整備

かなり道路が傷んできております。未舗装の場所も多く、舗装されている所も劣化が激しく、歩行者にも、自転車走行にも危険が伴う箇所があります。遊歩道の両脇も夏場は特に雑草も茂り、道幅も狭くなります。

老若男女問わず散歩コースでもあり、運動の場でもあるため、環境整備についての市の考えをお聞かせいただきたい。

【回答】

道路部長

議題2「境川ゆっくりロードの整備」についてお答えします。

昨年度の市政懇談会にて回答した坂本橋から小山橋の区間に加え、小山橋から高橋までの道路補修について、昨年度からの実施状況を区間ごとにご説明いたします。

【投影資料9】坂本橋から小山橋のオレンジ色の区間につきましては、2024年2月に21か所、2025年8月に1か所のクラック、路面のくぼみ、根上りの補修を実施しております。

小山橋から高橋までの緑色の区間につきましては、2024年4月に10か所、同年8月に7か所、2025年4月に7か所、のクラック、穴ぼこ、路面のくぼみの補修を実施しております。

また、同区間の草刈りにつきましては、定期的に実施をしておりますが、夏場の繁忙期は市内各所の草刈りを順次実施しているため、お待ちいただくことがあるごとをご了承下さい。

2 境川ゆっくりロードの整備

①境川河川改修の前倒し実施

境川の改修計画は、2033年度を完成目標として、「馬場橋上流～根岸橋」の間の整備が進められているが、その上流の改修は具体化されていない。近時の気象変化に伴う降雨量は30mm/Hでは収まらない実情にあり、早期に上流（馬場橋より上流）の改修を前倒しで実施頂きたい。

【回答】

下水道部長

境川では、2015年に策定された「境川水系河川整備計画」に基づいて、おおむね30年間で時間雨量60mmの降雨に対応した整備が進められております。

小山地区周辺における計画につきましては、神奈川県が河川改修事業として根岸橋から馬場橋上流まで約3kmを重点整備区間として位置づけ、2009年から事業に着手し、これまで事業用地の取得や改修工事を進めており、2033年度までの完成を目指しています。

今年度は、小山地区・忠生地区の両国橋下流において護岸改修、馬場橋から宮前橋間で用地取得を進めております。

今回ご要望である、「早期に馬場橋より上流の改修を前倒しに実施すること」については、河川の改修は下流から行なうことが原則であり、神奈川県からは、「重点整備区間の整備にめどが立ち次第、測量や設計等を実施し、馬場橋から上流への工事を早期に現場着手できるように進めていきたいと考えている。また、県が提供する雨量や水位の情報と市からの避難情報を共に活用し、避難活動への対応、協力をお願いしたい。」との回答をいただいております。

また、小山地区周辺における境川の整備促進のために、市の対応といたしましては、5月に神奈川県の厚木土木事務所津久井治水センターに対して2025年度の整備状況の確認や境川の早期整備を要請し、7月には同センターが主催する小山地区を含めた流域町内会・自治会との意見交換会に参加し情報共有や連携を図っております。

なお明日、21日には、神奈川県国土整備局河港課に訪問し、昨年度に引き続き境川の早期整備を強く要請してまいります。

《質疑》

町有町内会

今の河川に関して質問させていただきたいのですけれども、2010数年のときに計画を策定されて、その計画に基づいて、今、実行中で、2033年というふうな形で進められていると思うのですけれども、2010何年において、その以前にどのくらいの、氾濫まで行っていないかもしないんですけれども、危険水位とか、警戒すべき、赤とか、紫とか、黒とか、表示されていると思うんですけれども、あれがあった状態で17年に策定し、17年以降に実際どういうふうな現状で、17年から、予想から変わっているのか、現状どうなのかという、そういう表というか、統計みたいなのはありますか。それが質問です。

町田市長

今、証拠を調べています。私の記憶で。2008年に、高橋の上で水が出ました。高橋の上のちょっと低帶というのか、堤より低いところにお住まいの方のときは床下浸水まで行きました。そのほかは、そのとき以来、大きな水害は出ていません。先ほど部長のほうから答弁したのですが、下から工事をしているという関係では、何とこの地図の一番下にある藤沢橋、ここが最大のネックになっておりまして、藤沢橋の流下能力というのが、1秒間に何tという、それが非常に小さいために、その上を大きく広げると、藤沢橋の手前のところで川の右左に氾濫してしまうということで、県としては、藤沢橋のところから実はやりたいんですが、それがなかなかうまくいかないので、その途中の遊水地を五、六年前に完成させました。下飯田とか、あの辺ですね。今、一部公園になっていますけれども、そこは結構水が入るようになっています。それでも、実態上の効果は正確には分かりませんが、時間降雨時ベースで言うと5mmぐらいの効果しかないんですね。今の改修の神奈川県だと時間降雨30mm対応というところはその辺の川は。ですから、今の計画は、神奈川県は五、六年前は60mm対応は将来必要だと言われているんですが、ここは30mmに行っていないところもあるぐらいなので、非常に整備が遅れているということなので、高橋は土のうが積んである。あと、ここのエビデンスのほうは部長のほうから。

土のうのときは、2008年に氾濫しました。両側に、これは仮護岸ということで、土のうの中にセメントを混ぜて、固化する、固まるようにして、上からくいを打って、地べたに刺して、日時がたつと護岸と同じような機能する、がちがちになっています。ただ、それも結構紫外線で、外側のポリプロピレンか何かで劣化していますので、コンクリートがむき出しになっているというか、セメントがむき出しになっているような状態です。本来であれば、17年たっていますから、今頃、改修をしていなければいけないんですが、まだまだ、この写真にあるとおり、土のうのままということで、私の感じでは、一番下の藤沢橋は別としても、下からやって50mmまで行くというのが、まだ20年とか30年近くかかるのかなというふうに思っています。ですから、遊水地の工

事をあちこちでやっていますので、一時的な貯水をして氾濫を防ぐ工事をやり続けて、その間に護岸を整備するということをする以外にないのかな、感じでは20年ではちょっと難しいかな、そんな感じになります。

下水道部長

藤沢橋のところが一番狭くて30mm、その上に相鉄線の交差部が、ちょうど川が狭くなっている、90°に曲がっているところがありまして、こちらの2か所が一番のボトルネックと言われています。相鉄線の交差部については、既に工事を着手しております、2029年にはそこは解消するということで、ただ、一番下の藤沢橋の30mmが残ってしまって、そこがなかなか解消できない。東京都が管理しています根岸橋から東橋あたりの川の幅も、一旦、50mmで既に整備は済んでいるんですけども、藤沢橋が流せないので、30mmまで埋め戻しているという状況です。今回、小山地区のほうも50mm対応で護岸整備をしているんですけども、東京都のほうも30mmしか流れないので、一旦整備した上で、やはり埋め戻すという形で整備を今進めているという状況であります。

一番のネックである藤沢橋につきましては、護岸に家とかマンションが建ってしまっているので、川幅を広げられないということで、神奈川県が何を考えているかというと、川の下にもう1個、地下の川をつくりまして、バイパスをつくって流すということを計画しているんですけども、まだどこの場所から分離させて流すのか、どこで合流させるのかという計画自体がまだでき上がっていらない状況ですので、その辺を今年度あたりから調査に入っているという情報はあるんですけども、まだ具体的にお話しできる段階ではないというような状況でございます。

2 境川ゆっくりロードの整備

②境川左岸の馬場の高橋からサッカーグラウンドへ向かう道路について
少し強い雨が降ると道路全面が水たまりになってしまい、運動靴では歩行できなくなるため改善してください。なお、今後も車両の通行を認める予定であれば、車両の通行に耐えうる舗装にしてください。

【回答】

道路部長

議題2「②境川左岸の馬場の高橋からサッカーグラウンドへ向かう道路について」にお答えします。

【投影資料10】境川ゆっくりロードの高橋からサッカーグラウンドまでのピンク色の区間と、緑色のサッカーグラウンド入り口部分において、少し強い雨が降ると、歩行者の通行に支障となる「水たまり」の改善、路面排水の対策

要望と伺っております。

ピンク色の区間は、境川からの溢水を防止するため、境川ゆっくりロード端部に土のうが積んであるため、路面排水が河川側に流れない状況となっております。

この状況は、境川の改修に伴う護岸整備で解消されるもので、現時点での解消は難しい状況です。

したがいまして、議題2「①境川河川改修の前倒し実施」の回答と同様となってしまいますが、早期に境川の改修を要請してまいります。

また、緑色のサッカーグラウンド入り口の水たまりについては、解消策の検討を進めてまいります。

次にまた、当該区間の舗装につきましては、車両の通行が可能な構造となっております。議題2の回答のとおり、舗装の補修を行っており、本区間においても9月に改めて確認いたしましたが、現在は補修が必要な箇所はございませんでした。

今後も引き続き、舗装が傷んでいる箇所があった場合は、ご連絡をいただければ、都度、確認し補修してまいります。

《質疑》

上馬場町内会

本件ではなくて、過ぎてしまった話なんですけれども、表の④の狭隘道路の安全対策ということで、警察の守備範囲だということでお答えいただいたのですが、市と警察の守備範囲の確認をしたいのですけれども、最初にT字路とか全部整理しましたよというお話をされたんですけども、それも警察ですか。

道路部長

市です。

上馬場町内会

この中で、私のほうで、視線誘導線の路面標示というのもお願いしているのですけれども、横断歩道とダイヤモンドマークとか視線誘導線、それからT字路と、そこの警察の守備範囲と町田市の守備範囲を教えてください。

道路部長

外側線とか、区画線とか、先ほどのT字路については、市道であれば町田市の道路管理者、東京都道であれば東京都の道路管理者の所管になります。この先横断歩道ありを示すダイヤマークや止まりなさいを示す停止線といった規制が伴うものについては、警察の所管になります。なかなか分かりにくいので、要望として市にいただければ、担当から、それ、警察ですよという話になるか

もしれませんが、市から警察にお伝えすることはいつもやっていますので、問合せいただければと思います。縦割で大変申し訳ございません。

町田市長

つまり、スピードとか、一時停止とか、そういう守らせる、交通を規制しているのが交通管理者なのです。市役所は、市道であれば、その道路の物理的な管理をしています。ですから、交通規制になると、我々は線を引くこともしないという、そういうふうに分かれています。同じ道路の中で、これは交通規制のための線なのか、これは道路の維持管理というか、形をきっちと示すとか、そういうことなのか。例えば一番外側に白い線がありますね。あれは外側線と言って、市役所の仕事なんですけど、そこへ直角に一時停止という線を引くと、これは交通規制のほうになるから、町田警察なり、南大沢警察署なので、なかなか同じ路面で、30と書いてあるのはどっちだったか、それは交通規制だから交通課、消えかかっていたら市役所に言っても、いやいや、それは警察へとなっちゃうのは、交通管理者である警察と道路管理者である市役所なり南多摩東部建設事務所なり、そこが分かれているので、なかなか同じ道路の上に線が白いのが乗っていても管理者が違うという、ちょっと分かりにくい規制になっています。

3 多摩境駅前交番について

多摩境駅前交番の設置について設置に向けた取り組みが示されてから、一向に進展していません。進捗状況を周知するなど、住民に現状を教えていただきたい。

【回答】

防災安全部長

多摩境駅前交番については、2024年6月6日に4回目の工事入札が行われましたが、参加する事業者がおらず落札者が決まらない「不調」となりました。警視庁では、この多摩境駅前交番の入札後も他地区の交番や派出所の建築に係る入札を2025年8月までに20件実施していますが、落札者が決まったのはそのうちの4件にとどまっております。

市では、2025年3月26日に警視庁本部を訪問し、今後の見通しなどについて伺いました。担当者からは、「交番や派出所の建設や改築に関する入札のほとんどが予定価格を上げても入札者なしで不調が続いている。そのような中でも、価格だけでなく、資材置場などを含めた仮囲いの範囲が広く、作業しやすい環境が確保された案件は落札されやすい傾向にある」とのお話を聞いております。

今まで多摩境駅前交番は、小山多摩境公園の一角を建設地にしていることか

ら、工事中も公園の利用ができるよう、仮囲いの範囲を狭くした設計となつておりました。

そこで、落札されやすくなるように、警視庁は多摩境駅前交番の建築工事における仮囲いの範囲を見直すとともに、法令改正で必要になった省エネ適合判定などを含めた設計変更の入札を2025年中に実施すると聞いております。

そのため、多摩境駅前交番の建築は、早くても2026年度以降になると思われます。

市では引き続き、多摩境駅前交番に関する進捗状況を確認し、交番建築について警視庁に協力をしてまいります。

4 その他

①小山地区における住居表示の検討

市における住居表示の考え方や取り組みについてお示しいただきたい。

【回答】

都市づくり部長

住居表示は、土地の地番を用いて表示されている住所を、建物に番号を付けることによって順序よく整理し、分かりやすくするための事業でございます。

住居表示を実施することによって、火災や緊急時に通報する際に、迅速に場所を特定できることで救急車や消防車などの緊急車両の到着が速やかになる、郵便局、運送事業者の誤配等が起こりにくくなる、来訪者の方が住所を頼りに目的地に行きやすくなるなどの効果があります。

最近では、2024年7月15日に南大谷及び東玉川学園三・四丁目地区の住居表示を実施しました。

今後、小山地区も含めた市内における住居表示は、世帯数や人口、市街化の状況が進んだ地域から実施する必要があると考えています。

《質疑》

上馬場町内会

今お聞きしていて、今後ということで書いてあるのですけれども、小山地区は対象になっているのか、いつの計画とかあるんですか。

都市づくり部長

小山地区の今後の計画ということでございます。実は2018年度に、住所の整備調査業務委託を行いました。その中で小山町は、住所を整理することに非常に効果がある、期待ができる地域であるという報告を受けております。ただ、一方で、先ほどの話にもございましたけれども、境川の河川改修を行っておりまして、それに伴って行政界が変更される、それが変更されると、住所等

表記も変更せざるを得ない、こういう場所が点在しております。住所が再度変更される可能性が高い場所において住所整理を実施することは望ましくないと調査委託のほうには記されております。それによって、今、小山町においては、行政界の変更動向を注視しながら、住所整理をする必要があると考えております。

4 その他

②町内会への加入者勧誘活動の支援強化

町内会加入者の勧誘活動について、市の対策や具体的な支援についてお示しいただきたい。

【回答】

市民部長

「4 その他」の「②町内会への加入者勧誘活動の支援強化」について回答いたします。

町内会・自治会の加入促進につきましては、皆様が加入している町田市町内会・自治会連合会と協力して取り組んでおります。

市の大型イベントでは連合会のブースを出展し、町内会・自治会活動のPRを行っています。毎年1万人近くの来場があり市庁舎を会場に市民活動団体の多くが一堂に会する「まちカフェ！」や環境イベントの「まちだECO toフェスタ」において連合会のブースを出展する際に、ブース出展の企画や企画に参加してくださった方にお渡しする加入促進グッズの手配、このグッズを購入するための補助金申請のお手伝いなど、ともに協力して町内会・自治会の活動内容や町内会・自治会が日々の安全安心な暮らしに尽力していることをPRいたしました。

会場にいらした方々からは「いつも通学時の見守りをしていただいているありがとうございます」「自治会・町内会の活動を応援しています。」という町内会・自治会への感謝や応援の声もいただいております。

そのほか、4月には多くの市民が目にする「広報まちだ」においても町内会・自治会活動の特集を組み1、2面を使用し、町内会の魅力の発信や町内会と他団体との連携事例を紹介しました。広報を見た町内会役員の方から他団体との連携について、複数の問合せをいただき、団体同士の連携のきっかけをつくることもできました。

また、町田市町内会・自治会連合会と連携して加入促進チラシを作成し、転入者に向けて配布するほか、不動産店舗でも配布しております。

今年度の新しい取組としては、デジタルに親しんでいる世代へのアプローチとして、7月に小・中学校の保護者向け連絡ツールを活用して加入促進チラシを配信し、8月には町内会・自治会が作成したホームページのリンク集を作成

し、市のホームページから町内会・自治会の活動を閲覧できるようにしました。

町内会・自治会の現状につきましては、加入率の減少による地域コミュニティの希薄化は行政にとっても大きな課題だと認識しております。この状況を開拓するため、2024年度から2025年度の2か年をかけて法政大学と地域コミュニティの未来に関する共同研究に取り組んでいます。

研究では未加入の方も含め広く意識調査を行い、加入しない理由または加入して退会された方についても退会した理由などの把握をすることでコミュニティ形成に効果的な手段を探っているところです。

1年目を終えたところで中間報告として研究代表からの説明やそれを踏まえて参加者同士でお話をしていただく会を各地域で開催いたしました。

市民アンケートの結果を見ますと、未加入の理由として最も多いのは「時間を取ることができない」2番目に「役員になると忙しくて大変だから」が続きます。ほかの質問の結果から見ても、地域参加に関心がないというよりは、負担の重さが町内会・自治会に関わらない一番の理由となっているため、まずは負担軽減に取り組むことが効果的と考えています。

例えば、町内会・自治会の補助金申請などもいつでもどこからでも市役所に来なくても電子でできるよう少しでも負担を軽減できるように取り組んでいます。また、市からの急な依頼が負担だというお声も聞いていることから、7月には町内会・自治会への依頼は精査した上で、負担とならないよう配慮をするように各部署に向け通知したところです。

今年度も市の大型イベントには市連とともにブース出展を行い、多くの来場者に直接呼びかけをいたします。

《質疑》

町有町内会

これはお願いになるのですけれども、いろいろ補助金を頂ける機会をいただきまして、ありがとうございます。ただ、イニシャルに関する補助金がほとんどになっていますので、ランニングにかけられる費用の補助金というのをぜひ検討していただければと思います。これはお願いになります。よろしくお願ひします。

市民部長

そうですね。特に補助金という性質上、ランニングコストに対する補助というのになかなかないというのが実際のところなのですけれども、町内会の収入にはを集めている町内会費と補助金があると思います。町内会費をランニングコストなど補助が使えないことに使っていただいて、イニシャルとか、大きい金額のものとか、交流のためのイベントなど、結構広く使える補助金がありますので、なるべく補助金で使えるものは使っていただいて、そうではない部分に

については町内会で集めているお金で充てていただくという、お金の配分を考えていただけると、少し楽になるのかなと思います。ご意見については、良い方法がないか、こちらのほうでも検討していきたいと思っております。ありがとうございます。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

それでは、第2部に参ります。50分ちょっと前ぐらいまでやらせていただいて、その後、皆さんからご意見をいただきたいと思います。後ろが8時なので、そんなつもりでやらせていただきます。

ところどころ飛ばして、15分で、そんなものですので。

東京都立町田児童相談所、これは八王子にあります、都立八王子児童相談所の分割をして、半分近くを都立の町田児童相談所として山崎保育園の隣にこの6月に開所しまして、私ども、町田市役所の子ども家庭支援課、そこと一緒に仕事をしています。今まででは発育の問題であるとか、虐待の問題とか、いろいろあるようなものを児童相談所につなぐ仕事もしていましたし、自分のところで解決するということもある、今度は、児童相談所と八王子から分割してきた町田児童相談所の職員と、私どもで言う、先ほどの子ども生活部の職員が一緒にケースの対応をするという、共同の仕事ができるようになりましたので、今までより、きめ細かく対応ができるのではないかと思っております。

それから、ちょっと飛びますが、中学校給食センター、今月から南地区が稼働いたしましたので、全市中学校は全員給食というのでしょうか、食缶と言って、大きなずんどう鍋みたいなもので運んで、温かいものは温かいまま食べられるという状態に、今月からなりました。

今年になってからは、給食費そのものが無償化になりましたので、そういう意味では、学校給食における保護者の悩みというのは大分解消したのではないかと思います。

それから、高齢者の特別養護老人ホームの申込みの状況ですが、申込みをした後、1年以内に入所された方の統計は、15年前ですと45%、昨年ですと93%ということで、ほとんどの方が半年、1年の間に申し込んでから入所されております。

それから、町田木曽山崎パラアリーナというのがあります、これが2028年度に完成する予定です。これは前の木曽山崎団地の中の忠生第六小が廃止になります、そこが跡地として残っておりました。もう20年以上前ですが、そこに、先ほど言いました、町田地区の中学校給食センターができました。それは今年度初めなのですが、学校は広いですから、跡地としても残りの半分は、町田木曽山崎パラアリーナをつくる用地になっておりまして、今、それで事業

を進めています。これが28年度に完成するのですが、パラアリーナですので、パラスポーツの競技の方を優先する。健常者の場合は、パラスポーツの人たちの予約で空いたところがあれば使えるという、そういう体育館をつくっておりまます。厳密にどうか分かりませんが、多分、日本で2番目だと思います。東京のお台場、船の科学館というのがあるのですが、そこに日本財団というところがつくっていますので、それが第1号、木曽のやつは第2号で、多分、東京以外ではつくっていないから、日本で第2号になるのだと思います。

それから、国際工芸美術館は、先ほどのような業者決定の遅れとか、いろいろなことがあって、まだまだ遅れております。そういう意味で、1回のこの事業、つまり、国際工芸美術館もその付帯棟もエレベーターも、1回の入札で、落札したことがないので、みんな、それぞれ何回目かになっていまして、現在の開館予定は、そこに書いてありますように、工芸美術館は29年の4月、公園案内棟とか、版画工房は27年8月、公園等、四丁目のほうかな、原町田のほうの台地から谷に下りていくわけですから、その高低差を解消するためのエレベーターは28年度供用開始ということで、いずれもばたばたと入札不調で遅れております。

それから、熱回収施設、これは3年前にオープンしましたが、資源ごみの処理施設ができておりませんで、資源ごみ、瓶、缶、プラスチック等の処理施設を相原地区の大戸というところに今計画しています。用地買収が大分遅れていたのですが、残っているのはあと2件だけなので、おおむね、近いうちに用地買収が終わって、建設工事に入れると思います。ですから、ひょっとして32年より前にできてしまうかもしれません。

もう1か所、資源ごみ処理施設は、相原地区のほかに、小山田地区に計画されています。上小山田というところなのですが、JRのリニアの立坑を掘っています。非常口というのですか、小山の地域になるのかな、場所的には微妙なところで、境目ぐらいですか。そのこころのホスピタルの裏側からなんですけど、その方面に向かっていく道路を建設しているのですが、それに行く途中、今の私どものもくろみでは、源流の泉と言ったかな、鶴見川の一番奥にあるのですが、それと今のJRの立坑の中間ぐらいに、資源ごみ処理施設を計画しています。今まだ土地が確定していませんが、こちらと併せて、やっと、町田市から排出される瓶とか缶とかプラスチックの処理施設ができるということになっております。

そのプラスチックですが、市内全域で容器包装プラスチックの分別収集と資源化がスタートしまして、来年の4月です。今回ご出席いただいておりますが、各町内会の皆さんには、分別収集はこうやるよというキャンペーンを既にしておりますので、引き続き、来年の4月に向かって、地域住民の方にお知らせをいただきたいと思っております。来年の4月です。もうあと半年ないという状況です。今のところ、横浜線の南側で、多分、市域の6分の1ぐらいになるん

ですかね、やっているのですが、なかなか協力が進まないということなので、普通の黄色いほうにプラスチックのものを入れてしまうご家庭が多いのです。ちゃんとピンクのほうに入れてくださいよとあんなにたくさん言ったのにという、愚痴になりますが、本当に半分ぐらいの人しかピンクのほうに入れてもらえていないので、来年の4月、小山地域の人は一人残らず黄色のほうにプラスチックは入れないということでお願いしたいと思います。

そんなところが、今のところの、ちょっと話を抜いてしまいましたが、報告にさせていただきます。

《質疑》

中村町内会

質問ということで、スポーツ公園・広場整備ということで、私ども、今回、小山のサッカーグラウンドをお借りして、お祭りをさせていただいて、大変盛況に終わらせていただいたのですが、トイレがすごくひどいということと、来られた方にかなり言われたということ、あと、ネットがかなり破れているところがあったので、そういうところの整備というのもお考えいただきたいと思いましたので、発言させていただきました。

町田市長

私より新さんのほうがいいかな。一番質問されたくない質問がきました。

都市整備担当部長

今、スポーツ広場を順次、公園化している最中なのですね。小山のスポーツ広場も公園の予定地というか、先の予定地には入っているのですけれども、なかなか用地の関係とか、いろいろ関係があって、ちょっと今、事業が休止している状態でございます。私どもとしても、トイレ、大分汚いというお話はずつと以前から伺っていて、早く公園を整備するに当たって、そういった施設も含めて、全部きれいにしたいというふうに考えているのですが、今のところ将来的に新しく施設をつくる予定なのですが、その前に、それを単独で新しくするというのはちょっと難しい状況ということでございます。

町田市長

というわけで、市長に対して予算要望を今されているような、都市づくり部の予算要求を今されているような感じなのですが、実は借りている土地とか民間の土地で、スポーツ広場にしているところはまだほかにもあるのですね。そこがまとまってすぐ買えて、しかも公園としてできれば、先ほどの水処理場だけではなくて、トイレもきっとやることなのですが、下水道を引くにも、やっぱり公園として位置づけができないと、なかなかできないので、今、

そういう状況なのですが、こうなった暁には、公園でなくとも、そういう事業をやれるようにしなければいけないかなというのは、ほかのところでもそういう未解決なところが結構あるのですね。そういう意味では、これでサッカーとか、スポーツ、上沼のところはできているのですね、公園になったのですね。ですから、そういうふうに順次できなければ、暫定的にでも、公園にしなくとも、例えば今お話をあった、トイレだけでもやるとか、そういうことを暫定的にというか、緊急にやる事業を立ち上げないと、どうも今までの決まりだと、なかなかできないので、そういうふうに踏み切るような時期に来ているのかなと思います。ただ、いかんせん、市役所、貧乏なので、なかなかお金が回らないというのが実情です。でも、トイレというのは、子どもだけではなくて、高齢者もそうですので、あるいはあそこを走っている人なんかもそうなので、使えるようにしたほうがいいかなと私も思っております。

下馬場町内会

これは前会長の思いを引き継いでいるのですけれども、市長も替わるということで、こういう話をするのも機会がないのかなと思ってさせていただくのです。市役所の職員の方で、町田市民の方はどれぐらいいらっしゃるのかということと、その方々が町内会・自治会に加入しているかどうか把握しているかどうかということで伺いたいと思います。

これからは要望なのですけれども、町内会・自治会、こうやって頑張っているのですが、なかなか加入者が大変なところで、そこで、市役所の方がせめて町内会に入って、予算とか関係なく、少しでも町内会・自治会の活動に貢献していただけるといいなと思って、できれば市長がそのことをお話しいただければいいかなと思って質問しました。よろしくお願ひします。

市民部長

市民部のほうから、私のほうからお答えさせていただきたいと思います。

昨年も前会長から同じようなご質問をいただいておりまして、市の職員で、町田市民というと、半分もいないのですね。だからということではないのですけれども、町内会のほうに自治会のほうに加入するようにという話については、去年も言いましたけれども、研修の中でも、町内会の大しさとか、そういうのは市民協働として大事なのですというお話をしていて、加入するようにという話はしてはいます。ただ、それについて、どれだけ入っているのというまでは確認はしていないです。地域とお仕事をしているうえで、町内会の中に入らないと分からることはいっぱいありますし、皆さんのが苦労していることも、やってみないと分からないというところも、何が課題なのかも分からないというところで言うと、加入していないと話はできないのかなと思いますので、研修のほうでもこちらのほうから言つてきたいなと思っております。

お答えになっているのかというところはありますけれども、以上です。

町田市長

こういう、例えば町内会の役員をやってくださいとか、せめて会員になってくださいとかというのは、市長のほうからしてみれば、そういうふうにしてもらいたいのだけれども、じゃ、どうすると言って、例えば町内会会員になつてないと給料が1号俸下がるとか、なかなかそういうわけにもいかないし、町内会で役員になつたら昇級が早くなるとか、なかなかうまくいかないし、ましてや、管理職になる道は早くなりますよと言っても、ここにいる人は違うのだけど、そんなのだったら町内会に入らないと、そういう反応をする人もいるのですね。出世するのが早くなるよというのはマイナスの表現だったりするというのが今の職員の状況なのですね。出世したくないとか、課長にはなりたくないとかという人が一定程度いまして、そんなやつがいるのかなと、皆さん、そんな顔をしていますけれども、いるのです。民間の会社でも、あまりマネジャーをやりたくないという人も中にはいるのですね。そういう意味で、こうしてくれというのはなかなか伝わらないですね。新入社員を消防団にしようといって、なかなか市の職員が消防団に入らない。3000人の職員の中に5人しかいない。本当に地域の安全安心を守る仕事だということで、市内在住の職員にとっては、非常にいい環境なのですよ。消防団をやると。だけど、今言ったように5人しかいないという状況なので、今のお話はかなり身にしみたご意見でございました。

○閉会の挨拶（小山連合町内会会長代行）

議題1 交通・生活インフラ整備1

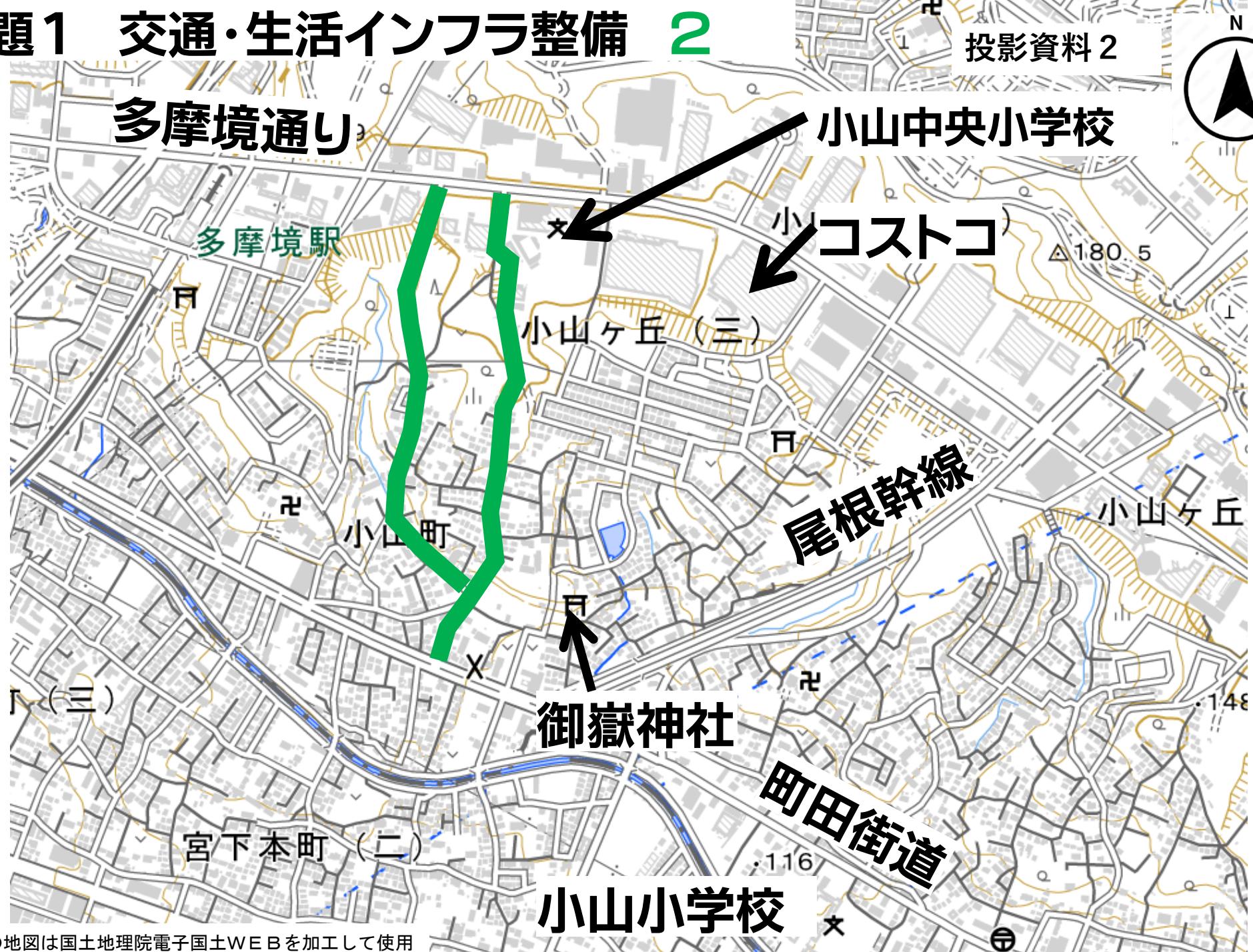


投影資料1



議題1 交通・生活インフラ整備 2

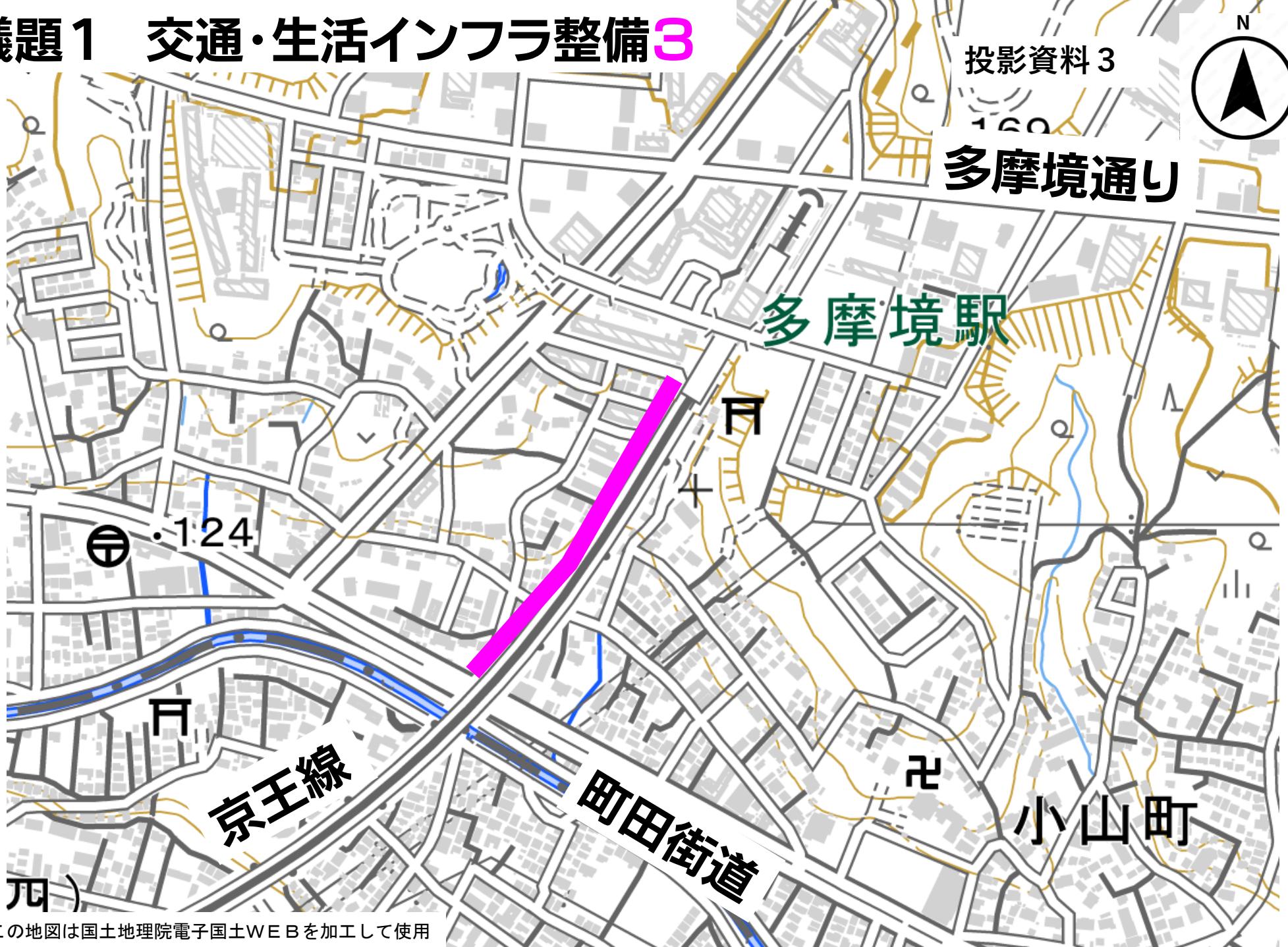
投影資料2



議題1 交通・生活インフラ整備3

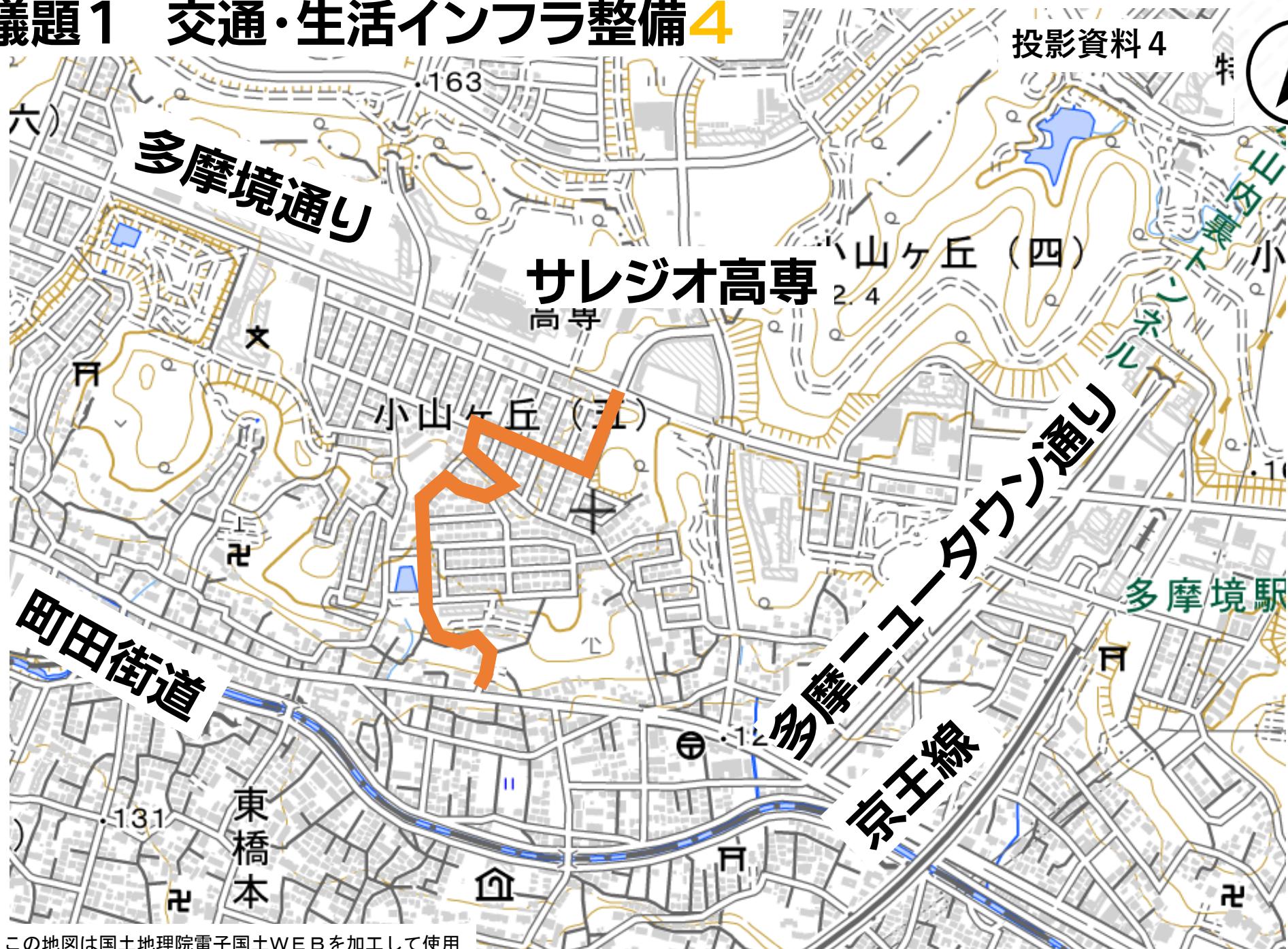
投影資料3

N



議題1 交通・生活インフラ整備4

投影資料4



議題1 交通インフラ整備

①多摩境通り交通環境整備

投影資料 5



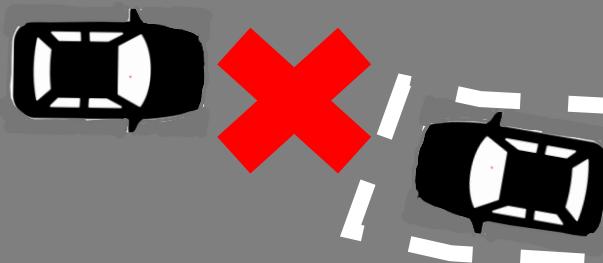
国道16号

右折待車両と、直進車両
の接触の危険性がある

多摩境通り

多摩境駅前
交差点

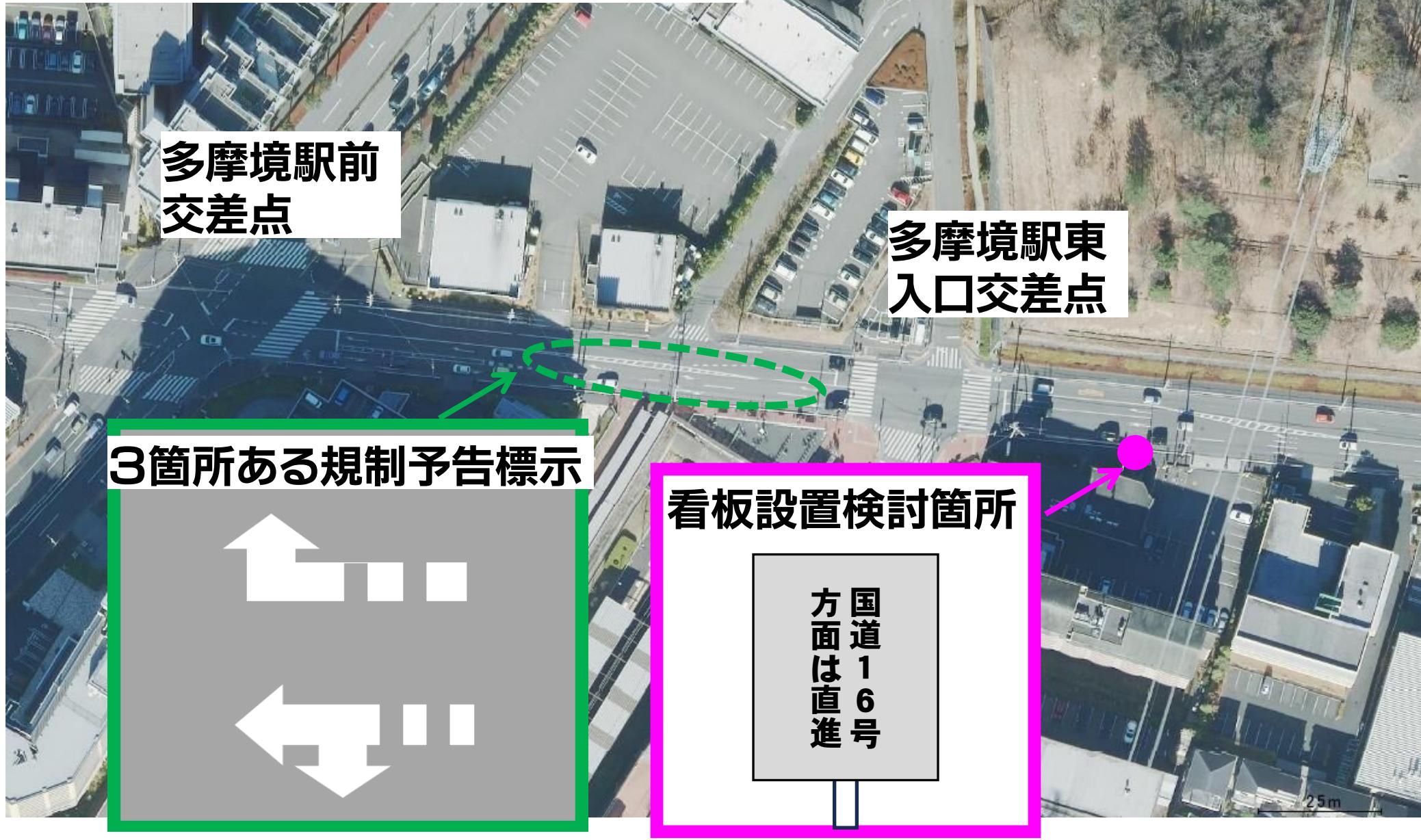
2車線から3車線へ
変更した場合



議題1 交通インフラ整備

①多摩境通り交通環境整備

投影資料 6



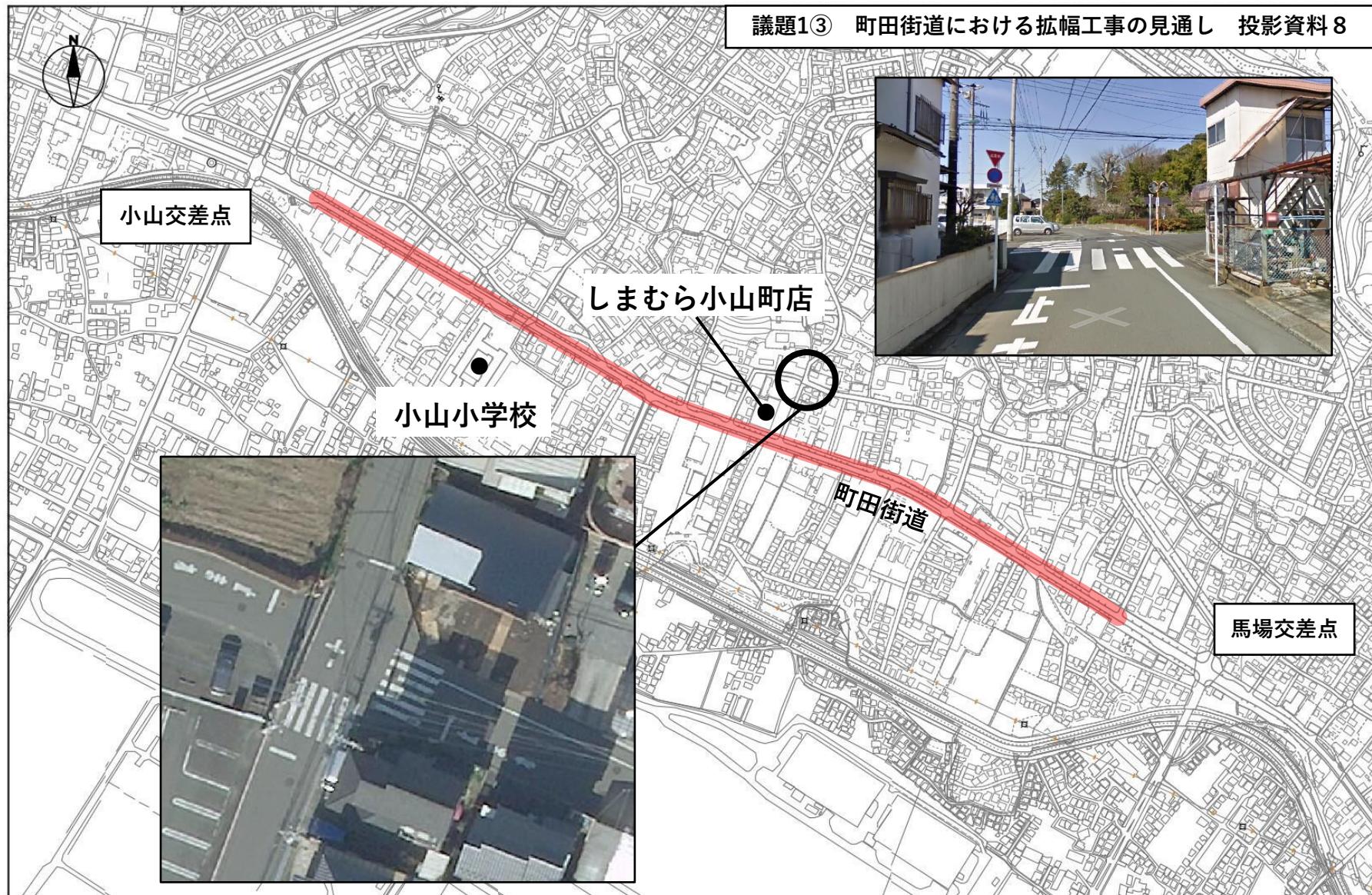
議題1 交通インフラ整備
②多摩境通り小山中央小学校前に設置されている歩行者用信号機を通常 投影資料 7
信号機へ変更



信号機の変更
要望箇所

小山中央小学校

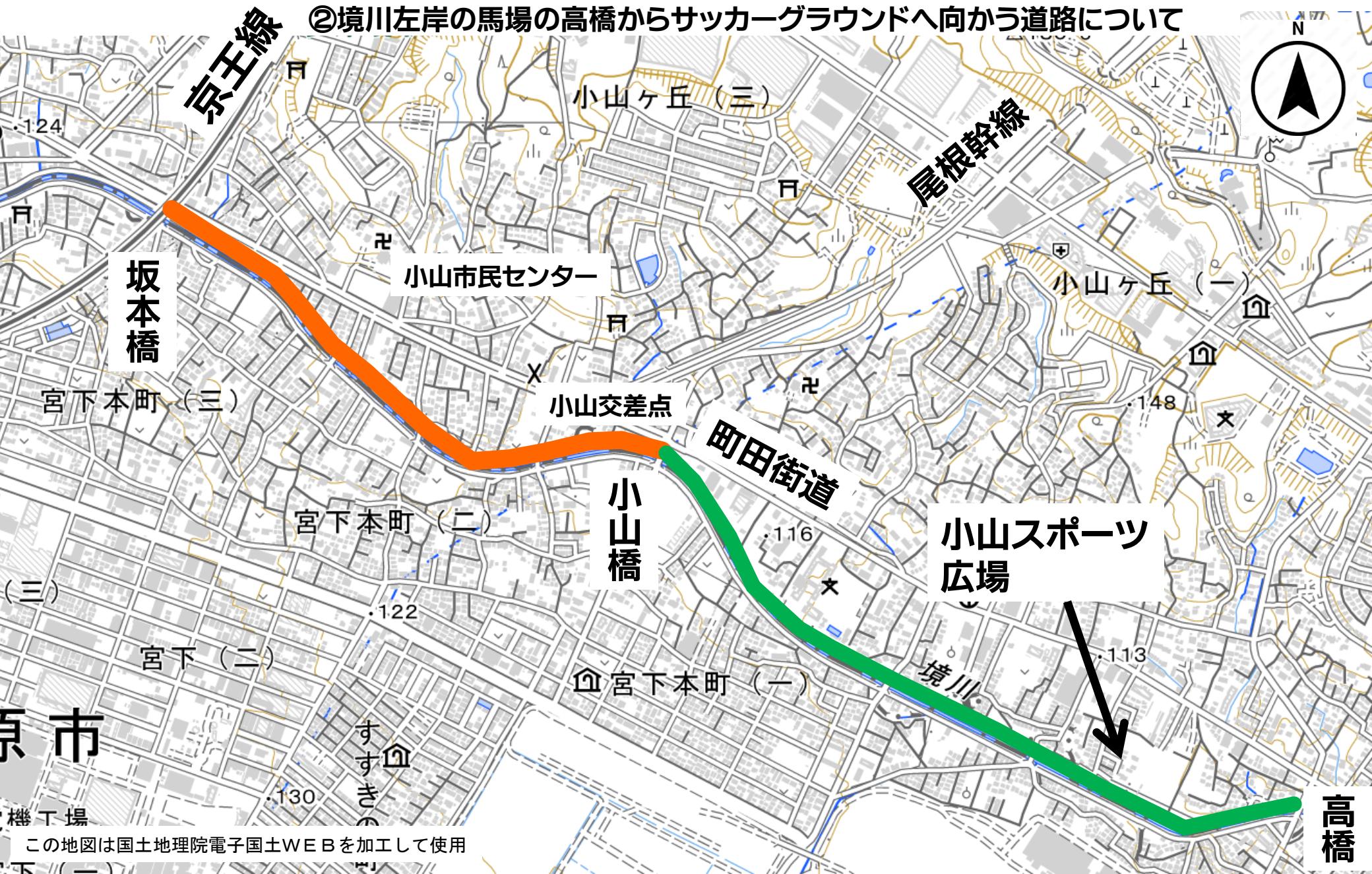
議題1③ 町田街道における拡幅工事の見通し 投影資料 8



議題2 境川ゆっくりロードの整備

投影資料 9

②境川左岸の馬場の高橋からサッカーグラウンドへ向かう道路について



議題2 境川ゆっくりロードの整備

投影資料 10

②境川左岸の馬場の高橋からサッカーグラウンドへ向かう道路について



グラウンド入口
の水たまり



土のうの設置状況



小山スポーツ
広場

馬場交差点

町田街道

高橋

この地図は国土地理院電子国土WEBを加工して使用